

# 新政府による改革(明治維新)

～新しい価値観の下で～

## ～授業の準備～

必要に応じてノートをとり、自分の考えを書いたり、教科書にマーカーをしたりしながら進めると良いでしょう。スライド中の**赤文字**は特に重要な語句です。最後の方にノート(板書)例もあります。

次のものを用意しましょう。(すべて歴史)

**教科書**      **資料集**      **ノート**(昨年度の続き)

**筆記用具**(色ペンやマーカー含む)

# ～ここまでの復習（幕末の動き）～

- 1853年の**ペリー来航**をきっかけに、日本では開国が進んだ。
- 開国や貿易をめぐる幕府の対応、社会の変化、様々な事件を通して、幕府の威信\*がますます低下した。  
\* 威信とは、権威(影響力)や信頼感のこと
- 1866年には**薩長同盟**が結ばれ、倒幕運動が本格化した。
- 1867年10月 15代将軍:徳川慶喜による**大政奉還**  
→12月 薩長・公家勢力による**王政復古の**大号令
- 1868～69年の**戊辰戦争**で新政府軍が勝利した。

そして、1968年3月

## 新政府が**五箇条の御誓文**を発布

教科書P158上または資料集P114上、参照

＝諸大名や諸外国に向けて新しい政治の方針を発表  
(ちなみに民衆向けには五榜の掲示を出した。)

どんな内容か確認してみましよう！

(動画を一度止めるとよいです。)

# 明治維新

約260年続いた江戸時代が終わり、新たな時代が始まります。**明治時代**です。**明治**は、平成・令和などと同じ元号で、1868年9月に始まりました。

王政復古の大号令以後、新政府は新しい国づくりを積極的に進めました。それは戊辰戦争の最中からです。この新しい国づくり(様々な改革)と社会の変化は、**明治維新**と呼ばれます。

<学習課題>

明治維新とは、どのような改革・変化だったのだろうか？

それでは、教科書P158上の絵を見てみましょう。

Q. 何を表している絵ですか？

(動画を一度止めるとよいです。)

# 東京遷都\*

天皇の江戸入城を表しています。1868年、天皇は京都から江戸に移りました。江戸は**東京**と改称され、翌1869年には首都に定められました。かつて江戸城だった所は、今は皇居(天皇の住まい)になっています。

Q. なぜ東京遷都を行ったのだろうか？  
(なぜ天皇は江戸に移ったのだろうか？)

\* 遷都(せんと)とは、首都を遷(うつ)すことです。

# 自分なりに何か考えは書け(言え)ましたか？

## 例

- 江戸(城)を新しい政府(天皇)で塗り替え、江戸幕府の支配(武家の時代)は終わったということを示すため。
- 江戸幕府の下で発展した江戸(東京)を拠点として利用する(生かす)ため。

自分の考えを裏付ける資料や情報を調べたり、見つけたりできたら社会科の取り組みとしては満点です！もしできたらやってみるとよいでしょう！



さて、新政府は他にどんな取り組みや改革を行ったのでしょうか？

(次に進む前に自分で調べてみてもOKです。)

# 明治政府の仕組み

- 教科書P158左②参照
- 古代にならって太政官制を採用  
→現在の省庁名に名残が見える。  
地理の北海道で習った開拓使もこの時代にできた。
- 「薩長土肥」\* 出身者中心の政府（藩閥政治）

\* 薩摩（鹿児島）、長州（山口）、土佐（高知）、肥前（佐賀）を指す。  
倒幕の中心となった藩。

# 新政府に強い権限を

- 1869年 **版籍奉還**  
→版(土地)と籍(人民)を天皇に返す。
- 1871年 **廃藩置県** (教科書P159上④参照)  
→藩を廃止して新たに府県を設置し、新政府(中央政府)から知事を派遣。

 **中央集権国家を目指す！**

(=中央政府に権力を集中させる国)

比較:江戸幕府は、各藩に独自の支配を認める地方分権型

# 旧身分制度の廃止

## <新しい身分>

- 皇族・・・天皇の一族
- 華族・・・元公家、元大名
- 士族・・・元武士
- 平民・・・元百姓、元町人、元被差別身分

→1871年の**解放令**で、「えた・ひにん」などの呼び名は廃止され、平民に組み込まれた。

**各身分は平等**とされ、誰でも正式な名字を名乗ること、異なる身分間の結婚、職業・居住などの自由を認められた。

この身分制について、いくつか問題を出しておきます。

- この身分制度改革で素晴らしいと思う点は何か？  
また、その理由は？  
(反対に課題となりそうな点はあるか？)
- なぜ「平等」でなければならないのか？
- 本当に平等になり、差別もなくなったのだろうか？
- この時、古い身分の中で最も損をしたのは、どの身分だろうか？

これらの問いについて考えることが、改めて新政府の意図や目標を理解するヒントになるかもしれません。

# ～ノート(板書)例～

[新政府による改革～**明治維新**～]

1868年3月 **五箇条の御誓文** 発布

…諸大名や諸外国に向けた新しい政治の方針

9月 **明治改元**

明治維新とは、どのような改革・変化だったのだろうか？

・「江戸」→「東京」(1869年 遷都)

Q. なぜ東京遷都を行ったのだろうか？

・「薩長土肥」出身者中心の新政府  
(**藩閥政治**)

・1869年 **版籍奉還**

→土地と人民を天皇に返す。

・1871年 **廃藩置県**

→**中央集権国家**を目指す！

(=中央政府に権力を集中させる国)

・旧身分制度の廃止=各身分は平等

皇族…天皇の一族

華族…元公家、元大名

士族…元武士

平民…元百姓、元町人、元被差別身分

→1871年 **解放令**で「えた・ひにん」も平民に。

Q. (身分制についての問い)

# ～終わりに～

<学習課題>

明治維新とは、どのような改革・変化だったのだろうか？

それでは最後に今回学習したことを振り返り、学習課題に対するまとめを書いてみましょう。

なお、今回扱ったのは教科書P158・159及び資料集P114・115の内容です。

## ～まとめの例～

新政府は、攘夷をやめてむしろ欧米諸国に学び、それらの強国に負けない強い日本を作ることを目指した。明治維新は、その実現のために旧来の封建的な武家政治を廃し、強力な中央集権国家を形成する改革であった。藩閥政治ではあったものの、中央集権の土台となる廃藩置県が実施され、欧米に遅れをとらないよう古い身分制度も廃止された。